

団体情報

団体番号	50
団体名	松江よさこい連「國美輝」
所属人数（前年度）	7人

※この報告書は、学生支援課のHPを通じて学外にも公開されるとともに、サークル棟の継続使用の判断材料として利用されます。

別紙の記入要領を参照の上ご記入ください。

活動報告	活動目的	団体の結成目的や活動の目的・目標などを記載してください。 高知県高知市発祥のよさこいはもともと戦後の不況を吹き飛ばし市民を元気づけるために始まりました。私たちもそれに倣い様々なイベントに参加して演舞を披露したり、時には地域の他のチームや一般の方と総踊り曲を踊り、よさこいを通して島根に住む人々を元気づけ、つながりを大切にすることが活動の目的です。
	活動内容	Ⅰ. 前年度の活動内容について記載してください。 ①通常の活動 夏季・春季の休業期間を除き、週2回（木・金曜日 各2時間）の定期練習を実施しました。前年度は新入部員の獲得に至らず、参加できるイベントも限られた厳しい状況ではありましたが、「演舞を見てくださる方々に最高のパフォーマンスを届ける」という目標を掲げ、モチベーションの維持と技術向上に日々励みました。少人数だからこそ、一人ひとりが高い意識を持って日々の練習に取り組み、一体感を高めることができた期間でした。  定期練習風景（※2026年撮影） ②社会や地域貢献活動 新入生もおらず、先輩方の引退に伴い活動の維持が難しい場面もありましたが、雲南市の「きすきの桜はえ～よさこい」や「川津ふるさと夏まつり」に加え出雲市の「神話の国よさこい」など松江市および近隣自治体の地域イベントへ積極的に参加しました。部員の多くは未経験者であり、学業等で多忙な日々の中でしたが、限られた時間で磨き上げた演舞を披露しました。地元の方々から「元気をもらえた」といった温かい評価をいただき、イベントの盛り上げに貢献できたと考えています。大学の拠点である松江市や周辺地域との繋がりを深く実感するとともに、よさこいを通じて地域住民の皆様笑顔と活力を届けるという、当サークルの社会的意義を再確認できた1年間でした。  出雲市 神話の国よさこい祭り (2025/10月) ③その他アピールできること 前年度は先輩も引退され、新入部員もおらず部としての存続すら危うい状況でしたが、それでも諦めず集まって練習したり個々でパフォーマンスを磨き、サークルイベントでは6人の新入生の獲得に至りました。メンバーそれぞれの努力やチームとしての結束力の強さがこのサークルの良さです。

			金額（円）	備考（内容等）
収支報告	収入	繰越金	¥62,407	
		入部(会)金	¥0	0円／人（年額）
		部(会)費	¥0	0円／人（年額）
		サークル援助金（学推会より）		
		活動・イベント収入		
		寄付金	¥0	
		スポンサー収入	¥0	
		その他	¥0	
		収入合計	¥0	
	支出	備品等購入費		
		施設等利用料		
		大会等参加費		
		広報活動費		
		交際費		
		交通費	¥4,930	1.神話の國よさこい（松江⇄出雲市） JR山陰本線 {590×2}×2人+590（一人片道） 2.きすきの桜はえ～よさこい（松江⇄宍道） JR山陰本線 {330×2}×3人
		その他	¥24,877	※イベント参加費等やその他使用額が分類されておらず、一緒に計上されていました。 なお一般的なイベントの参加費は1000円/1人×参加人数分となっています。
		支出合計	¥29,807	
	差引収支		¥36,200	次年度への繰越金

※年間の収支を記入してください（昨年4.1～今年3.31）

希望する支援や要望事項※	大学に対する支援や要望	鳴子や衣装、旗などを部長が管理しておりますが量が多いため置いたり管理できる場所をいただきたいです。
	学外の団体等への要望	これといった強い要望ではございません。 ですが現在、参加させていただいている島根県のイベントに加え今後は中国地方でのイベント等を含め広く参加させていただきたいと考えており、情報のご提供や仲介等のご協力をいただけますと幸いです。 大学内外のイベントへの参加を通じて知名度を高め、高知市のよさこい全国大会をはじめとする大規模な舞台への出場を目指しております。

※経済的支援だけでなく施設利用などの要望でも構いません。なお要望には具体的な理由もお書きください。